

6月18日

リサイクルを楽しく学ぶ J E P L A N が環境授業

今年3月に町と「資源循環推進に関する包括連携協定」を締結した株式会社J E P L A N（ジェプラン）による環境授業が白糠、茶路、庶路の各校で行われ、子どもたちがリサイクルについて学びました。

この日、白糠学園の授業では、ペットボトルを駒にした「すごろく」を行い、ペットボトルがリサイクルされるまでをたどる道のりを楽しく学びました。



JEPLANの小林悠里さん(左)とすごろくを楽しむ児童たち

6月25日

観光客を温かく迎え 道道釧路空港線の花壇を整備

釧路町村会と釧路総合振興局、釧路造園建設業協会は、観光客を温かく迎えるため、国道240号から釧路空港へつながる道道釧路空港線の花壇に花の植栽を行いました。

この日は約130人が参加し、標茶高校の生徒が育てたマリーゴールドやサルビアなど約2400株と、同協会が用意したベコニアなど約1100株を丁寧に植えました。



標茶高校の生徒と一緒に花を植える「しらぬか花くらぶ」



「寄付金を各学校で役立ててほしい」と砂金支部長(前列左)

6月21日

子どもたちのために役立てて トラック協会寄付採納

釧路地区トラック協会白糠支部（砂金郁子支部長）から白糠、茶路、庶路の各校へそれぞれ20万円、合計60万円の寄付をいただきました。

この日、役場で贈呈式が行われ、砂金支部長より川島眞澄教育長に寄付金が手渡されました。

砂金支部長は「子どもたちの交通安全のためなど、必要とするものに使ってください」と話していました。



「おいしいね」と言いながら給食を味わう参加者

6月26日

給食への理解を深める ふるさと給食試食会

学校給食センターは「ふるさと給食試食会」を町総合給食センターで行い、町民7人が参加しました。

学校給食への理解を深めてもらおうと、例年6月と10月に開いています。今回のメニューはきつねごぼうごはん、みそ汁、千草焼き、ごまあえの4品。参加者は「おいしいね」と言いながら、児童生徒と同じ給食を味わっていました。



6月26日

レバンガ北海道SDGsプロジェクト バスケットボール寄贈

男子プロバスケットボールリーグ1部に所属するレバンガ北海道から、町内の全小学校と義務教育学校にミニバスケットボールが計25個寄贈されました。

この日、庶路学園で寄贈式が開かれ、6年生の児童8人が協力会社のインフロニア・ホールディングス株式会社グループで前田建設工業の職員とマスコットキャラクター「レバード」からボールを受け取りました。



①②寄贈はレバンガ北海道のSDGsプロジェクトの一環。ボールを受け取った戸田安思さんは「ボールはみんなで大切に使います」と感謝していました。③マスコットキャラクター「レバード」の来校に、庶路学園の児童たちは大喜びでした。



6月28日

北前船寄港地フォーラム参加者を歓迎 白糠駒踊りなどを披露

6月29日に釧路市で開催の「第34回北前船寄港地フォーラムinひがし北海道・くしろ」に参加する約30人を歓迎するセレモニーを町内で開きました。

セレモニーでは、白糠駒踊り保存会による郷土芸能「白糠駒踊り」や、アイヌ文化保存会によるアイヌ伝統古式舞踊などを披露。フォーラム参加者は大変喜び、大きな拍手を送っていました。



①白糠アイヌミュージアムポコロの駐車場で「白糠駒踊り」を披露。②白糠アイヌミュージアムポコロを見学。③ウレシパチセでは、白糠アイヌ文化保存会によるアイヌ伝統古式舞踊を披露し、アイヌ文化への理解を深めていただきました。